



▲530名の町民による寒空の中の清掃活動（4月29日 鏡沼周辺クリーンアップ作戦）

No.141

平成25年5月29日発行

北海道天塩町議会

てしおり 議会だより

第1回定例会……2

一般
質問

5人町政を問う……3

予算審査特別委員会……7

第1回天塩町議会定例会

平成25年3月定例会を、3月5日から15日までの11日間の会期で開きました

24年度補正予算などの審議のあと、浅田町長から25年度町政執行方針・予算提案説明を述べて休会
13日に再開し、5氏8件の一般質問後、25年度各会計予算審査のため特別委員会を設置し休会
2日間にわたる慎重審議を行い、15日に本会議を再開
委員長報告のとおり決し閉会しました

一般会計補正予算

726万円減額 **総額** 53億2,081万円



▲6月16日で13年目を迎える
町民保養センターてしお温泉夕映

【増額補正】

- ・町民保養センター管理経費
- ・町道及び公共施設除排雪経費
- ・天塩港湾建設事業

【減額補正】

- ・特別職給与費等
- ・職員給与費等
- ・行政事務OA機器管理経費
- ・重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費助成事業
- ・後期高齢者療養給付対策事業
- ・児童手当支給事業
- ・地域子育て創生事業
- ・ごみ処理経費
- ・産業廃棄物処分場測量調査等委託料
- ・道路区画線引事業
- ・市街地排水整備事業
- ・町道整備補修事業

主な補正内容(歳出のみ)

予算総額75.3億円を可決

一般会計 44億5,000万円
特別会計 30億7,702万円

再生可能エネルギーの活用

町長 情報収集し実施したい

山本 地球環境の保全、エネルギー自給率の向上、地域経済社会の発展等の観点から、風力など再生エネルギーの導入拡大が国の大きなテーマとなっております。

広大な土地を利用した風力発電の増加が見込まれる中、町としても将来、各施設へのエネルギー供給に活かすべきだが、町長の考えは。

町長 地熱・水力・バイオマスなどのエネルギーも含めて、地域社会がエネルギーを消費するだけでなく、つくり、蓄え、賢く使うことなどを前提に、様々な観点から情報収集や考察が必要を考えます。

関係機関と機会を逃さないように必要な対策を協議・検討し、進めてま

いりたい。

山本 町の自然環境を考えると風力が最適と思うが、既に町に各社から打診があると聞いている。

風力が必要だと考えるのであれば、速やかに他の町村に負けることなく手をあげるべき。

現在どこかの会社と折衝しているのか。

町長 現段階では、風況調査を川口基線で株式会社日立エンジニアリング

&サービスという会社が、干拓地域では、ソフトバンクグループのSBエナジー株式会社



山本 春光 議員

が始めようとしております。

山本 災害に強いまちづくりを目指し、次世代に繋ぐ安全・安心の構築をすべきでは。

町長 天塩らしい再生可能エネルギーの導入の検討をはじめ、公共施設のLED化の更なる取り組みなど、できるものから実施をして、再生可能エネルギーの利用促進などを目指したまちづくりを推進してまいりたい。



天塩町内に現在3基ある風力発電風車

防災 緊急医療・救援情報キットの作成

町長 情報提供体制を整える

山本 今年1日で1m27cmの雪で雪害対策本部を設置・対策を行ったが、町民からFF式ストーブの排気管が詰まり、自分でどうしていいかわからないという話を聞きました。

各町内会と行政が連携を取って、町長が掲げる安全安心のまちづくりを目指すのであれば、緊急医療情報キット、救援情報キットの作成に取り組むべきでは。

町長 これまでの災害弱者対応として、暴風雪・大雪警報の折には、関係職員による、高齢者等弱者に対する安全確認を行っております。

社会福祉協議会では「福祉除排雪サービス」を行っており、除排雪作業を行う人がいない世帯

の対応を連携を取りながら行っております。

また、65歳以上の高齢者、身体障害者手帳所持者、ひとり親家庭等の対象者には、緊急連絡先やかかりつけ医療関係を記載した「お守りカード」を作成し、高齢者宅に配布しております。

これらデータは民生委員との連携のもとに管理をしており、情報収集、提供ができる体制となつ

ております。

山本 いつ起きるか分からない災害時に即対応するために1日も早い自主防災組織の立ち上げをすべきでは。

町長 現在町は、非常に自主防災組織の結成が少なく、私達も反省をしております。

町内会でも非常に高齢化が進んでいる町内会があり、そういう町内会の扱い方をどうすべきか検討する必要があると思ますので、25年度は、強化の年と捉えて全体の中での取り組みをして努力をしていきたい。



自主防災組織（8丁目町内会）による避難訓練のようす

収納対策

収納率向上対策は

町長 滞納防止を強化します

渡辺 天塩町収納率向上対策本部について

- ① 対策本部の活動状況と会議の内容は。
- ② 税の滞納に限らず、使用料、利用料、貸付料等もこの本部が対応しているのか。
- ③ 収納率向上に向けた、研修、研究の取り組みを具体的に。

町長 ① 収納強化月間前に収納対策本部において会議を開き、関係課より過年度滞納額の収納状況の情報収集、また滞納者についての世帯構成や生活状況などの情報交換を行って臨戸訪問にあつております。

② 現在は一部の使用料等は滞納額が減少して来ており、担当者段階で徴収業務にあたっております。

③ 公共サービスの制限の適用範囲を広げるなど強化を図り、所得税還付金差押え、預貯金差押え、給与等差押えにとどまらず、誠意なき滞納者については、実施範囲を拡大し財産の差押えも視野に入れながら収納率向上に努めてまいります。

渡辺 誰から見ても納税義務を果たせそうなのに果たさない人が、税に限らず、使用料、利用料等を滞納しているのでは。

各課が連携をし、滞納者の情報の共有化を図り、滞納、収納金のある課が一緒になつて徴収にあたるべきでは。

町長 納められる方が何年経つても結果的には納めてくれないという場合は、強制手段をとらなきゃ



抜本的な改革が求められる滞納者対策

いけないと思います。私達にとっては同じ町民の皆さんの税金ですので、公平にやつてまいりたいと考えます。



渡辺修勝 議員

産 業

農業振興ビジョン

町長 優良牛育成に助成したい

渡辺 本年度から実施予定の乳、肉精液補助事業について

- ① 事業は農業振興ビジョンの本構想の中の位置づけはどこなのか。
- ② 事業の受け皿となる組織はどこなのか。
- ③ 事業は何年を考えているのか。またこの事業の結果をどんな形で求めようとしているのか。

町長 ① 精液の補助により牛群が改良され、一頭当たりの乳量が増大すること、また、肉質の改善が図られ、農業経営の安定化が図られることを目的として、「農業振興ビジョン」を構築していきたい。

② 農協を通して授精を行っている組合員の場合は農協が事業主体となり、そ

うでない場合は農家個々が事業主体となりますので、農家個々からの申請により補助をしたい。

③ 低能力牛や淘汰対象牛の入れ替えなどをしていくには、5年程度の助成が必要ではないかと考えております。

渡辺 どんな精液に補助金を付けたいのか。



乳量と肉質改善が期待される精液補助事業

1つの精液にあたり、補助金はいくらなのか。農家に対しての上限は何頭なのか。

農林水産課長 乳牛については、雌精液に対して補助をしたいと考えており、6千円以上の精液を使った場合に2千円の補助をするということを考えます。

補助頭数上限については、各農家の経産牛頭数の、60%にあたる頭数に対する精液代を補助したいと考えております。

健康づくり

健康維持予防対策は

町長 健康増進に努めたい

横山 健康維持に対する取り組みについて

- ① がん予防功労者表彰受賞の背景にどんな取り組みがあったのか。
- ② インフルエンザ予防接種率の前年度対比は。
- ③ 現在、実施している検診及び予防接種の種類は。
- ④ 今後、実施を検討している検診及び予防接種は。

町長 ①胃がん、肺がん、大腸がん検診の受診数が平成20年度以降、徐々に増加していることが評価され受賞に至りました。

② 65歳以上の方の平成24年度実績見込みでは、528人、23年度実績では531人で3人の減となっております。

また、中学生以下の子供は、平成24年度実績見

込みでは、257人、23年度実績では124人で、大幅な増となっております。

③ 検診は基本健診、特定健診及び、胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん、前立腺がんのがん検診。

予防接種では、予防接種法に定期接種として定められている麻疹・風疹ワクチン、それから二種混合ワクチン、三種混合ワクチン、四種混合ワクチン、ポリオ不活化ワクチン、BCGワクチン、任意接種のヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンについて自己負担なしで実施しております。

また、平成25年度からはインフルエンザワクチンについても自己負担なしで実施してまいります



横山 町長

と考えております。

④平成25年度において新たに実施する検診・予防接種は予定しておりません。

横山 公共施設及び敷地内で禁煙を実施しているが、町立病院において禁煙外来を設置するべきでは。

病院事務長 体制が院内で整った段階で早急にはじめたい。



早急に設置が求められる禁煙外来

農業

上川畜産公社への出資金

町長 返還を求めていく

菊地 農業政策について
① 上川畜産公社の食肉センターに、出資金の一部の返還を求めるときでは。

② 国営の北川口真空サイロ2基について、どの程度使ったのか。

何が原因で使われなくなったのか。

③ 天塩平原地区、天塩沿岸地区、肥料灌漑事業の総事業費と起債残高は。

町長 ①天塩町農協も出資していることから連携をし、今後タイミングを見ながら出資金の一部返還を求める方向で進めていきたい。

② 昭和53年から63年までの11年間、酪農家の飼料の自給不足を補填するため、利用組合により利用されてきました。

昭和63年にアワヨトウ

ムシの大量に発生したことに伴い、サイレージの質が落ちたことによつて利用者がなくなり、以後利用を停止しました。

③ 天塩沿岸地区の総事業費は約206億2千万円で、天塩平原地区・雄信内地区は、総事業費約164億4千万円になります。

起債残高は、天塩沿岸地区が、平成24年度末で残額が約5400万円となっており、天塩平原・雄信内地区が、平成24年度末で残額が過疎対策事業債と天塩町農業協同組合を合わせて、約2億5千万円となっております。

菊地 畜産公社に対する出資金7848万円については、経済団体の事情に合わせる必要性がないのでは。



菊地 町長

行政は町民の税金の出資に対する一部返還を早急に求めるべき。

町長 地元として強く話を進めていけるように、畜産公社役員である天塩農協組合長と協力して強力で推進していくようにしてまいります。



利用を停止している北川口真空サイロ

天塩小学校改築

町長 地元関係者による施工

菊地 天塩小学校の建築は総事業費で13億から14億で、町にとって久々の大型事業で町民の期待も大きいものであります。

町民の使うものはできる限り町民、関係者の手による施工を考えての発注をするべき。

また、天塩小学校体育館の新築に伴い、スポーツライミングをできるよう整備し、小学校の授業に取り入れて体力の増進を図るべき。

合わせて一般開放も検討しては。

町長 小学校の工事発注は、条件付一般競争入札を考えております。

これは、従来の価格のみによる自動落札方式とは異なり、価格と価格以外の要素、例えば工事施工の実績、地域社会への

貢献等を総合的に評価する落札方式であり、具体的には入札者が示す価格を総合的に評価し、落札者を決定する落札者を決定する落札方式です。

将来の子供達へのたくましい体づくりには、体を動かす時間の確保や習慣化を身に付けさせることが必要なことから、クライミングウォール等のアスレチック施設の設置に関して、安全性の確保と管理面に対する情報を整理し、前向きに検討したい。

一般開放についても実施する方向で検討したいと考えております。

遠藤 町政運営ビジョンについて

- ①希望の持てる農業の将来は守られる農業の継続か戦える強い農業かいずれを目指すのか。
- ②農業集落維持が困難な状況にあるが歯止め対策は。
- ③輸入自由化や円高への対策として自給飼料確保に欠かせない牧草自給増のための雑草駆除や土壌切り替えしに対する独自支援策を検討すべきでは。
- ④水産業の技術開発によるブランド化を図っては。
- ⑤厳しい雇用環境にどう取り組まれる考えなのか。
- ⑥イメージキャラクターの「てしお飯面」の今後の活用方法は。
- ⑦環境整備の全体像をど

- う描いているのか。
- ⑧住環境の向上による街中を明るくより安全とするため制度化による空き家対策を新たに導入しては。
- ⑨定年退職・早期退職者数と新規採用者数の不均衡についての考えは。

町長 ①現状守りになっている農業を行政から変革を仕掛けていく必要があると考えていますので、「戦える強い農業」を目指していきます。

②基幹集落を中心とした地域の再生や活性化に向けた移住定住対策の検討やイベントの開催支援から地域コミュニティー機能維持などの対策を講じてまいりたい。

③現在、留萌酪農プロジェクトという組織の中

町政運営ビジョン

町長 実施にむけて検討します



遠藤 健 議員

で、安価にできる雑草駆除や簡易な草地更新という方法などを検討しております。

④関係団体と協議検討を行い具体化に向けた取組みを進めていきたい。

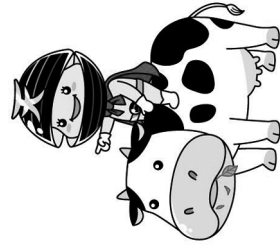
⑤現在は雇用創出や拡大にはつながっておりませんが、順調に事業が拡大されている分野もあることから今後に期待をしまいいりたいと考えます。

⑥地域の幼児から高齢者まで幅広い年代の様々な皆さんに認知の浸透を高める取組を行い、キャラクターへの愛着から地域や故郷を思う心、「郷土愛」を深める取組をすすめてまいりたい。

⑦町内会をはじめボランティアグループや団体など行政と一体となつて安全で快適に暮らせる住みよいまちづくりを目指

したい。
⑧町としての空き家対策における方針を検討し、そこに向けた取組みを行っていききたい。

⑨平成25年度の普通会計における天塩町の職員数は72人で予定しており、対前年比で5名の減となる状況にありますが、職員配置の適正化に努め、行政運営を行ってまいります。



天塩町イメージキャラクター「てしお飯面」

平成25年度 各会計予算8件を審査 予算審査特別委員会

委員長

川 端 英 嗣

副委員長

後 藤 忍

予算審査特別委員長報告

3月14・15日の2日間に渡って延会を挟みながら、審査を行いました。

これらの議案の審査にあたり、町政全般にわたり議論されました諸問題に対する要望・意見について、理事者においては、その執行にあたっては熟慮断行に配慮されること、諸施策の機動部隊と言える職員においては、常に緊張感とスピード感を持って職務遂行に対処されるなど、町民福祉の向上に向けた行政運営を望むものであります。

最後に、本町を取巻く多くの課題を行政、議会、町民が一体となって、「一歩前に踏み出す勇氣」・「弛まぬ努力」・「迅速な決断力」この天塩版3本の矢で、町政執行方針にある「人づくり、夢づくり・希望に燃えるまちづくり」の基本理念が全町民に共感され、「住んでよかった」・「住み続けたい」そして次世代に誇れる「元気なまちづくり」が表現できるよう願って、本特別委員会に付託された案件の審査の経過と結果の報告と致します。

委員会中の主な質問

【ホームページ】

遠藤 町のホームページをリニューアルする際にライブカメラを設置して、ホームページでその映像を見ることができるようにするというふうに説明を聞いたが、未だ見れないが。

企画商工課長 ライブカメラは、利用の仕方が、当初福祉会館へ固定設置をして、使おうと考えていましたが、カメラを固定設置せず、いろんな観光情報発信の中で地域の特産品をPRしてみたり、お店の一押しの食みたいなものをPRしてみたり、ユーストリウムを活用しながら、行っていると考えています。

【てしおメジャーズ推進事業】

遠藤 事業の中身を具体的に。
企画商工課長 天塩のイメージアップキャラクターの着ぐるみとPRグッズを作つていきたいと考えてます。

【地デジ難視解消事業】

山本 7200万の予算でどの地域を対象にしてこの事業をするのか。

企画商工課長 町で一番、送受信効率のいい役場に送受信機を立てて、市街地一円と南更岸地区のエリアをカバーし難視を解消します。

【敬老会】

菊地 毎年同じ内容で行っているが、そろそろやり方を変えてみては。

町長 参加してくれるみなさんに楽しんでいただけるような形のものを再度検討してみます。

【トド被害対策事業補助金】

後藤 補助金の内容は。
農林水産課長 一人30反の網を限度に1反3千円を限度額として補助し、今年度は、希望者の8名を予定しています。

【天塩産品味くらべ事業】

横山 これまで沢山の商品が生まれているが、それが商品化・定番化していない。商品開発も大事だが、その後、きちんと定着した商品になるまでしつかりPRに取り組むべき。

町長 事業を行って10年以上になるので、これからも様々な取り組みをしていきたい。

【天塩川港まつり事業補助金】

菊地 270万支出しているが、全町盛り上がりつつ一つのお祭りごとになってないのでは。

商工会、漁協、農協などと町あげてのイベントにできないのか。

町長 経済団体等、いろいろ組織があるので、どうすれば盛り上げていけるか、そういう視点で協議をさせていただきたい。

【避難訓練実施経費】

横山 いつ、どのような訓練を予定しているのか。

住民課長 9月1日の防災の日に合わせて、避難訓練を行えるよう準備していきたい。

内容は町内会の自主防災組織等の協力を得ながら、地域皆で自分達の命を守る訓練になるようにしたい。



【調査結果】
 今回の所管事務調査は、今後の議
 会審議の参考に資するため、所管に
 係る事項について調査を行いました。
 その内容については次のとおり

① 天塩高校通学対策事業について

中川町から通学する天塩高校生に
 対し、通学の利便を図り天塩高校の
 一閉口確保を維持するため、平成23
 年度から通学バスの運行している。

当初の毎日3便に加え、土日・祝
 祭日等に1便を増便し運行している。
 平成24年度予算額は、約1千百万円
 となっている。

② 天塩高校通学費助成事業について

【天塩町バス定期運賃補助】
 天塩高校通学費助成金は、平成22
 年度から実施し、天塩、遠別、幌延、
 初山別から平成22年度と平成23年度
 は各年度とも72人に約1千2百万円、

所管事務調査

2月15日

総務文教常任委員会

**天塩高校に係る助成事業
 等について**

平成24年度からは豊富を加え70人に
 12月末で約1千万円を補助している。

【天塩町国鉄羽幌線代替輸送定期補助】

バス通学生定期運賃補助は、平成
 22年度から実施し、振老・更岸方面
 から平成22年度は9人に15万円、平
 成23年度は6人に9万円、平成24年
 度は3人に12月末で4万円を補助し
 ている。年々申請者が減少傾向にあ
 る。

③ 天塩高校体文協助成事業について

【体育文化振興協力会事業補助金】

体育文化活動に関する各種大会に
 対し助成し、平成元年度から実施し
 ている。平成22・23年度は各80万円、
 平成24年度は60万円を補助している。

【学力向上・環境整備事業補助金】

各種検定、講習、外部英語教師等
 による学力向上及び花壇等の環境整
 備に対するものと、入学奨励費一人



5万円及び進学合宿費に対し、平成
 22年度から実施している。平成22・
 23年度は各469万円、平成24年度
 は720万円を補助している。

**議 会 を 傍 聴 して
 みませんか!**

**次の定例会は
 6月12・13日
 の予定です。**

編集・発行

●委員長 川端

【議会広報特別委員会】

英嗣 ○副委員長 横山

敦 ○委員 山本 春光